

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年11月16日
【四半期会計期間】	第47期第3四半期（自平成26年7月1日至平成26年9月30日）
【会社名】	株式会社小僧寿し
【英訳名】	Kozosushi Co.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 磯村 明彦
【本店の所在の場所】	東京都中央区築地三丁目9番9号
【電話番号】	03-6226-4400（大代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務経理部長 片野 裕之
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区築地三丁目9番9号
【電話番号】	03-6226-4400（大代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務経理部長 片野 裕之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は、一部の取引業者との仕入取引において、架空取引による不適切な仕入高の計上及び支払処理が行われていた可能性があり、その影響が平成25年10月から平成27年5月までの複数年に及んでいる疑義が発生したことを受け、平成27年10月2日に外部の専門家を含む調査委員会を設置し、事実関係の調査を実施いたしました。

当該調査の結果、架空取引による不適切な仕入高の計上及び支払処理が行われていた事実が判明し、その結果として不適切な会計処理が確認されたため、過年度における決算の訂正が必要となりました。

これらの決算訂正により、当社が平成26年11月14日に提出いたしました第47期第3四半期（自平成26年7月1日至平成26年9月30日）に係る四半期報告書の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、赤坂・海生公認会計士共同事務所により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

第4 経理の状況

2. 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

四半期連結包括利益計算書

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第46期 第3四半期連結 累計期間	第47期 第3四半期連結 累計期間	第46期
会計期間	自平成25年 1月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 1月1日 至平成26年 9月30日	自平成25年 1月1日 至平成25年 12月31日
売上高 (千円)	11,808,708	9,205,387	15,694,555
経常損益 (千円)	381,119	<u>599,555</u>	<u>632,225</u>
四半期(当期)純損益 (千円)	810,562	<u>769,288</u>	<u>1,684,151</u>
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	810,562	<u>769,288</u>	<u>1,684,151</u>
純資産額 (千円)	1,549,662	<u>1,746,015</u>	<u>1,019,416</u>
総資産額 (千円)	4,386,923	<u>3,679,151</u>	<u>4,237,642</u>
1株当たり四半期(当期)純損益金額 (円)	53.60	<u>32.39</u>	<u>108.80</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	35.2	<u>47.4</u>	<u>23.9</u>

回次	第46期 第3四半期連結 会計期間	第47期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日
1株当たり四半期純損益金額 (円)	26.6	<u>6.3</u>

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 経常損益、四半期(当期)純損益及び1株当たり四半期(当期)純損益金額の は、損失であります。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失金額であるため記載しておりません。

5. 過年度の決算訂正を行い、平成26年9月5日に訂正報告書を提出しております。

(訂正後)

回次	第46期 第3四半期連結 累計期間	第47期 第3四半期連結 累計期間	第46期
会計期間	自平成25年 1月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 1月1日 至平成26年 9月30日	自平成25年 1月1日 至平成25年 12月31日
売上高 (千円)	11,808,708	9,205,387	15,694,555
経常損益 (千円)	381,119	<u>571,415</u>	<u>628,406</u>
四半期(当期)純損益 (千円)	810,562	<u>741,148</u>	<u>1,680,332</u>
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	810,562	<u>741,148</u>	<u>1,680,332</u>
純資産額 (千円)	1,549,662	<u>1,777,974</u>	<u>1,023,235</u>
総資産額 (千円)	4,386,923	<u>3,707,637</u>	<u>4,238,697</u>
1株当たり四半期(当期)純損益 金額 (円)	53.60	<u>31.21</u>	<u>108.56</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	35.2	<u>47.9</u>	<u>24.0</u>

回次	第46期 第3四半期連結 会計期間	第47期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日
1株当たり四半期純損益金額 (円)	26.6	<u>5.96</u>

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 経常損益、四半期(当期)純損益及び1株当たり四半期(当期)純損益金額の は、損失であります。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失金額であるため記載しておりません。
5. 過年度の決算訂正を行い、平成26年9月5日に訂正報告書を提出しております。

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(訂正前)

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策等を背景に全体として緩やかな回復基調が続いておりますが、個人消費には依然として反映されておらず、駆け込み需要の反動の長期化も懸念されております。外食産業におきましては、原材料価格の高騰や、業種を超えた企業間競争の激化は加速しており、当社を取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況の中で、当社の主軸である持ち帰り寿し事業の立て直しを優先的課題とし、オペレーションの見直しによる店舗収益構造の改善や、コスト構造の改善に注力いたしました。

一方で、競合店の出店、価格競争の激化に伴い1店舗当たりの商圏が狭小する現状において、収益改善の見通しが立たない不採算店舗の閉店を進めております。

しかしながら、赤字の源泉である不採算店舗の閉店推進について、その完了に一定の期間を要することや、各種施策によるコストダウンの効果が本格的に顕在化するのが第4四半期以降となる見通しとなっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、92億5百万円（前年同期比22.0%減）となりました。営業損失は5億58百万円（前年同期は3億72百万円の営業損失）、経常損失は5億99百万円（前年同期は3億81百万円の経常損失）となりました。四半期純損失は7億69百万円（前年同期は8億10百万円の四半期純損失）となりました。

(訂正後)

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策等を背景に全体として緩やかな回復基調が続いておりますが、個人消費には依然として反映されておらず、駆け込み需要の反動の長期化も懸念されております。外食産業におきましては、原材料価格の高騰や、業種を超えた企業間競争の激化は加速しており、当社を取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況の中で、当社の主軸である持ち帰り寿し事業の立て直しを優先的課題とし、オペレーションの見直しによる店舗収益構造の改善や、コスト構造の改善に注力いたしました。

一方で、競合店の出店、価格競争の激化に伴い1店舗当たりの商圏が狭小する現状において、収益改善の見通しが立たない不採算店舗の閉店を進めております。

しかしながら、赤字の源泉である不採算店舗の閉店推進について、その完了に一定の期間を要することや、各種施策によるコストダウンの効果が本格的に顕在化するのが第4四半期以降となる見通しとなっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、92億5百万円（前年同期比22.0%減）となりました。営業損失は5億30百万円（前年同期は3億72百万円の営業損失）、経常損失は5億71百万円（前年同期は3億81百万円の経常損失）となりました。四半期純損失は7億41百万円（前年同期は8億10百万円の四半期純損失）となりました。

第4【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、赤坂・海生公認会計士共同事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,037,743	984,340
受取手形及び売掛金	622,633	371,225
商品	724,862	293,640
貯蔵品	34,431	24,048
その他	339,665	367,572
貸倒引当金	100,251	175,114
流動資産合計	2,659,084	1,865,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,724,762	1,725,612
減価償却累計額	1,724,569	1,677,680
建物及び構築物(純額)	193	47,931
機械装置及び運搬具	56,615	56,615
減価償却累計額	56,615	56,615
機械装置及び運搬具(純額)	-	-
工具、器具及び備品	743,980	723,428
減価償却累計額	743,229	713,364
工具、器具及び備品(純額)	751	10,063
土地	324,795	324,795
リース資産	26,300	8,800
減価償却累計額	8,800	8,800
リース資産(純額)	17,500	-
有形固定資産合計	343,239	382,790
投資その他の資産		
投資有価証券	7,282	7,232
敷金及び保証金	1,053,250	1,276,516
長期前払費用	11,642	3,475
破産債権等に準ずる債権	323,565	327,048
その他	69,039	43,709
貸倒引当金	229,463	227,333
投資その他の資産合計	1,235,317	1,430,648
固定資産合計	1,578,557	1,813,439
資産合計	4,237,642	3,679,151

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,057,843	493,905
短期借入金	200,000	-
1年内返済予定の長期借入金	201,200	199,200
リース債務	8,916	6,241
未払金	682,128	485,120
未払法人税等	69,399	9,518
賞与引当金	5,643	13,714
資産除去債務	4,978	23,773
その他	197,557	125,104
流動負債合計	2,427,667	1,356,576
固定負債		
長期借入金	174,200	25,300
リース債務	31,923	11,701
長期未払金	8,585	6,300
資産除去債務	375,043	342,579
その他	200,805	190,677
固定負債合計	790,557	576,559
負債合計	3,218,225	1,933,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,307	2,769,338
資本剰余金	771,788	1,521,820
利益剰余金	1,771,867	2,541,155
自己株式	7,315	7,376
株主資本合計	1,011,913	1,742,626
新株予約権	7,503	3,388
純資産合計	1,019,416	1,746,015
負債純資産合計	4,237,642	3,679,151

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,037,743	984,340
受取手形及び売掛金	622,633	371,225
商品	724,862	293,640
貯蔵品	34,431	24,048
その他	340,720	396,058
貸倒引当金	100,251	175,114
流動資産合計	2,660,140	1,894,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,724,762	1,725,612
減価償却累計額	1,724,569	1,677,680
建物及び構築物(純額)	193	47,931
機械装置及び運搬具	56,615	56,615
減価償却累計額	56,615	56,615
機械装置及び運搬具(純額)	-	-
工具、器具及び備品	743,980	723,428
減価償却累計額	743,229	713,364
工具、器具及び備品(純額)	751	10,063
土地	324,795	324,795
リース資産	26,300	8,800
減価償却累計額	8,800	8,800
リース資産(純額)	17,500	-
有形固定資産合計	343,239	382,790
投資その他の資産		
投資有価証券	7,282	7,232
敷金及び保証金	1,053,250	1,276,516
長期前払費用	11,642	3,475
破産債権等に準ずる債権	323,565	327,048
その他	69,039	43,709
貸倒引当金	229,463	227,333
投資その他の資産合計	1,235,317	1,430,648
固定資産合計	1,578,557	1,813,439
資産合計	4,238,697	3,707,637

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,054,889	490,431
短期借入金	200,000	-
1年内返済予定の長期借入金	201,200	199,200
リース債務	8,916	6,241
未払金	682,128	485,120
未払法人税等	69,399	9,518
賞与引当金	5,643	13,714
資産除去債務	4,978	23,773
その他	197,748	125,104
流動負債合計	2,424,903	1,353,103
固定負債		
長期借入金	174,200	25,300
リース債務	31,923	11,701
長期未払金	8,585	6,300
資産除去債務	375,043	342,579
その他	200,805	190,677
固定負債合計	790,557	576,559
負債合計	3,215,461	1,929,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,307	2,769,338
資本剰余金	771,788	1,521,820
利益剰余金	1,768,048	2,509,196
自己株式	7,315	7,376
株主資本合計	1,015,732	1,774,585
新株予約権	7,503	3,388
純資産合計	1,023,235	1,777,974
負債純資産合計	4,238,697	3,707,637

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	11,808,708	9,205,387
売上原価	5,531,916	4,812,482
売上総利益	6,276,791	4,392,905
販売費及び一般管理費	6,649,735	4,951,127
営業損失()	372,943	558,221
営業外収益		
受取利息	1,747	814
受取配当金	5,615	19,115
受取賃貸料	132,106	147,758
その他	25,746	33,358
営業外収益合計	165,215	201,046
営業外費用		
支払利息	13,844	6,421
賃貸資産関連費用	133,245	133,913
株式交付費	18,283	53,852
その他	8,016	48,191
営業外費用合計	173,390	242,379
経常損失()	381,119	599,555
特別利益		
固定資産売却益	19,915	462
関係会社株式売却益	290,874	-
事業譲渡益	152,537	-
新株予約権戻入益	4,114	4,114
その他	3,199	784
特別利益合計	470,640	5,361
特別損失		
固定資産除却損	48,821	22,012
減損損失	570,258	3,074
早期割増退職金	209,396	32,387
貸倒引当金繰入額	-	80,364
解約違約金	-	5,810
その他	-	23,044
特別損失合計	828,475	166,692
税金等調整前四半期純損失()	738,954	760,886
法人税、住民税及び事業税	71,607	8,402
法人税等合計	71,607	8,402
少数株主損益調整前四半期純損失()	810,562	769,288
四半期純損失()	810,562	769,288

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	11,808,708	9,205,387
売上原価	5,531,916	4,784,342
売上総利益	6,276,791	4,421,045
販売費及び一般管理費	6,649,735	4,951,127
営業損失()	372,943	530,081
営業外収益		
受取利息	1,747	814
受取配当金	5,615	19,115
受取賃貸料	132,106	147,758
その他	25,746	33,358
営業外収益合計	165,215	201,046
営業外費用		
支払利息	13,844	6,421
賃貸資産関連費用	133,245	133,913
株式交付費	18,283	53,852
その他	8,016	48,191
営業外費用合計	173,390	242,379
経常損失()	381,119	571,415
特別利益		
固定資産売却益	19,915	462
関係会社株式売却益	290,874	-
事業譲渡益	152,537	-
新株予約権戻入益	4,114	4,114
その他	3,199	784
特別利益合計	470,640	5,361
特別損失		
固定資産除却損	48,821	22,012
減損損失	570,258	3,074
早期割増退職金	209,396	32,387
貸倒引当金繰入額	-	80,364
解約違約金	-	5,810
その他	-	23,044
特別損失合計	828,475	166,692
税金等調整前四半期純損失()	738,954	732,746
法人税、住民税及び事業税	71,607	8,402
法人税等合計	71,607	8,402
少数株主損益調整前四半期純損失()	810,562	741,148
四半期純損失()	810,562	741,148

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	810,562	769,288
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	810,562	769,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	810,562	769,288

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	810,562	741,148
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	810,562	741,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	810,562	741,148

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	持ち帰り寿し 事業等	寿しFC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,960,250	2,245,136	9,205,387	-	9,205,387
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,960,250	2,245,136	9,205,387	-	9,205,387
セグメント利益又は損失()	82,223	82,215	164,438	393,783	558,221

(注)1. セグメント損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用393,783千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門の配賦不能営業費用であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(訂正後)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	持ち帰り寿し 事業等	寿しFC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,960,250	2,245,136	9,205,387	-	9,205,387
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,960,250	2,245,136	9,205,387	-	9,205,387
セグメント利益又は損失()	63,447	72,851	136,298	393,783	530,081

(注)1. セグメント損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用393,783千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門の配賦不能営業費用であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	53円60銭	32円39銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	810,562	769,288
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	810,562	769,288
普通株式の期中平均株式数(株)	15,120,574	23,748,056

(注) なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(訂正後)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	53円60銭	31円21銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	810,562	741,148
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	810,562	741,148
普通株式の期中平均株式数(株)	15,120,574	23,748,056

(注) なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月16日

株式会社小僧寿し

取締役会 御中

赤坂・海生公認会計士共同事務所

公認会計士 赤坂 満秋 印

公認会計士 海生 裕明 印

私たちは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社小僧寿しの平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私たちの責任は、私たちが実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

私たちは、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

私たちが実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社小僧寿し及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は、平成26年10月30日開催の取締役会において、資金の借入の実行を決議した。

当該事項は、私たちの結論に影響を及ぼすものではない。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、訂正前の四半期連結財務諸表は前任監査人によって四半期レビューされており、平成26年11月14日に四半期レビュー報告書が提出されている。

利害関係

会社と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。